

# 馬路町いまどきトピックス このひと・このまち

令和6年度から、馬路町の紹介コーナーとして「馬路町いまどきトピックス このひと・このまち」を企画しました。

第一回目は、地元北区にお住まいの 太田垣 實(おおたがき・まこと)さんをご紹介しますとともに、馬路町での暮らしを語っていただきました。

## わたしと馬路町

馬路町に移り住んだのは17年前、京都新聞(美術担当編集・論説委員)を定年退職し、大阪成蹊大学芸術学部教授に就任する頃でした。自然豊かな土地で過ごしたいと思い、古民家を手に入れました。都会に近い田舎という「とかいなか」が言われ始めたころでした。

日課にしているウォーキングもいろいろなコースが豊富で、歩くたびに発見や気づきがあります。山裾や川岸の道を歩くと雉(キジ)に出合ったり、近年はコウノトリを見かけることも多くなりました。パラグライダーや気球など人と自然の関係も融和的なもの心がなごみます。

今の住まいに移って造った庭は、四季折々の草花が楽しめ、去年の暮れには成木となったヤマボウシの枝木に、ヒナが巣立ったあとのメジロのかわいい巣を見つけました。初めての巣掛けで感激し、正月の床飾りにしたほどです。

古来、文人画家は仙境にあこがれ、深山幽谷(しんざんゆうこく)や峻巖(しゅんげん)な山水を旅して絵に描きましたが、私は身近な自然や庭仕事の楽しみを通して、晴耕雨読の日々を過ごしています。(美術評論家)



おおたがき まこと  
太田垣 實

### 【功績・略歴】

京都新聞社に入社後、昭和59年から美術記者として、その後、美術専門編集委員・論説委員として活動される。京都新聞社を退職後は、京都を拠点に執筆や講演会活動をされるとともに、京都の新人美術家の育成や文化芸術活動の普及振興に多大な貢献を果たされており、令和6年2月13日に「令和5年度京都市芸術振興賞」を受賞される。



発行者:馬路町自治会 亀岡市馬路町流川2-1(TEL:0771-22-0661) ホームページ <https://umaji-cho.com> 印刷:(株)天声社

あいさつ  
自治会長  
中川 徹

雨上がりの木々の緑がすがすがしく、初夏の気配も漂う季節になりました。皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、私たちが目指す住みよいまちづくりの一丁目一番地は「安全・安心」のまちづくりです。この取り組みの要を担っているのが亀岡市消防団馬路分団の皆さんです。日々、正業を持ちながらも馬路町の住民の生命、財産を守るため火災予防や防災活動にご尽力いただいております。町民を代表して心より感謝、御礼を申し上げます。

今年は、2年ぶりに「亀岡市消防操法大会」が来る7月7日(日)に開催されます。馬路分団は、一昨年の「第38回亀岡市消防操法大会」の小型ポンプ操法の部で20年ぶりに団体優勝を成し遂げられ、第28回京都府消防操法大会に亀岡市消防団を代表して出場されました。馬路町にとりましても大変誇らしく名誉なことであり、馬路町全体が喚起に沸きました。

今年も連覇に向け、堤弘孝分団長の下、5月11日から訓練を

開始してまいります。酷暑の中での厳しい訓練、体調には十分注意され、優勝目指して精励いただきますようお願いいたします。馬路町を挙げて応援していきたいと思っております。

明るく元気なまちづくりを進める上で少子高齢化や人口減少が大きな課題になっていきます。今後の発展と持続可能なまちづくりには多くの方に移り住んでいただき、新しいまちづくりにも参画いただくことも重要であると思っております。幸いにも、少しずつ馬路町に移住していただく方が増えてきており、地元住民の皆さんとだけでなく、移住いただいた皆さんどうしの交流も広がり、新しいまちづくりの息吹を感じられるようになってきました。

今回の「自治会だより」では、馬路町にお越しいただいた太田垣實様に馬路町について執筆をお願いしました。馬路町で生まれた「馬路町の魅力」について、ご示唆いただきました。誠にありがとうございます。馬路町に住むすべての皆さんの思いや協働により、「これからも住み続けた魅力ある馬路町」にしていきましょう。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 亀岡光秀まつり

### 明智光秀役、馬路町の大学生

5月3日(金・祝)好天の下で行われました「亀岡光秀まつり」の武者行列に馬路町からお二人の方が参加されました。光秀役には大学生の河原光希さんが、鉄砲隊には馬路町自治会議員の岩間和博さんが、多くの観客が見守る中、城下町を練り歩かれました。



### 自治会議員が参加

丹波亀山城を築いた戦国武将を顕彰する第51回亀岡光秀まつりに、参加させて頂きました。初夏を思わせる陽気の中、丹波亀山鉄砲隊の衣装を着せて頂き、武者行列として、旧城下町を練り歩きました。沿道には、多くの観客の方々がおられ、緊張しながらも楽しく過ごさせて頂きました。また、スタッフの方々の細やかな気づかいや気くばりを受け、大変感銘しました。参加させていただいたことにより、よい経験となりました。今後の自治会議員の活動に少しでも活かされればと思います。ありがとうございました。(岩間和博)



**編集後記**

いつも宇津根大橋を利用します。用事が済んだの帰り道、目の前にひろがる三郎ヶ岳を中心とした川東の風景。新しい橋が完成して早や2年が経過しますが、今でも通るたびにその景色の新鮮さや、川東の素晴らしさを感じています。

令和6年度は、3年ぶりの自治会議員の改選があり、顔ぶれもわかりました。昨年度からは自治会行事も全面再開。新たな気持ちで、取り組んでまいりたいと思っております。地域情報、ご意見をお寄せください。(中澤和洋)

編集長 中川 徹  
編集委員 中澤和洋  
編集副委員長 中澤嘉夫  
委員 中澤千裕  
委員 人見真司  
委員 名倉勝香  
委員 人見典子

今後の行事予定		令和6年 6月~9月
6月30日(日)	馬路町自主防災会	防災研修
7月14日(日)	京都サンガ応援交流事業	
7月23日(火)	亀岡市との地域懇談会	
8月23日(金)	町民大運動会実行委員会	
9月1日(日)	馬路町自主防災会	防災訓練
9月17日(火)	八幡宮社祭典	
9月22日(日)	馬路町敬老会	
9月27日(金)	馬路町文化祭実行委員会	

**桂川市長表敬訪問**

4月16日(火)中川自治会長と6名の自治会議員で市長を表敬訪問いたしました。各自治会議員の紹介の後、市長から「馬路町自治会は日頃から、市政にご理解を頂き魅力あるまちづくりに取り組んで頂き有難うございます。また平の沢池ライトアップの綺麗さは大変好評を頂いていると聞いています。川東保育所の建て替え計画、平の沢池の駐車場整備等々、馬路の魅力ある地域づくりを一步ずつ着実に進めたいと思っております。」とのお話を伺いました。

中川会長から、平の沢池ライトアップ増設や、馬路北児童遊園の開設、三軒屋のトイレの設置などへのご支援のお礼を申し上げます。今、空き家に若い方が移住されて来たり、文化祭やホームページでも紹介したいと思っております。馬路町もまちの雰囲気が変わりつつあり、大変うれしく思っております。今後とも、馬路町へのより一層のご支援をお願いいたします。

桂川市長の市政への思いをお聞きし、馬路町がより良くなっていると感じたひと時でした。(中澤嘉夫)